

職員紹介⑦

※内容は取材当時のものです。



とある1日のスケジュール



- 8:45 施設開館準備
- 9:00 メールチェック、決裁文書確認
- 10:00 業者打合せ
- 12:00 昼休憩
- 13:00 新規事業打合せ
- 15:00 職員面談
- 16:30 メールチェック、決裁文書確認、
夜間管理者への申し送り
- 17:30 退勤



行政管理部主幹(社会福祉法人くにたち
子どもの夢・未来事業団派遣) 課長

職種: 一般事務
平成24年度入職

Q1.現在の仕事内容

現在は、市が設立した社会福祉法人「くにたち子どもの夢・未来事業団」に派遣職員として出向しています。令和7年7月にオープンした公共施設「国立駅南口子育て・子育て応援テラス」の所長として施設運営を担うとともに、法人本部の法人経営室長を兼務し、法人全体の予算調整や人材確保、新規事業の立案などにも携わっています。

Q2.職場の雰囲気

事業団は「子どもを真ん中にしたまちづくり」を組織理念としており、私のような市からの派遣職員と、さまざまな分野で子どもに関わる専門職員によって構成されています。市が設立した法人ではありますが、民間の社会福祉法人であるため、事業立案から実施までのスピードが速く、職員のモチベーションも非常に高い組織だと感じています。

Q3.国立市に就職を決めた理由

他の公務員試験を受験しに初めて国立駅に降り立った時に、大学通りの風景にとっても魅力を感じ、その後国立市を受験することにしました。私自身、大学卒業後数年間就職キャリアがない中で、運よく国立市にご縁をいただき、現在に至っています。

Q4.仕事のやりがい

国立市の職員は、他自治体と比べて一人ひとりが担う業務の幅が広いと思います。大変さもありますが、その分さまざまな分野の知識や経験を得ることができ、仕事の充実感は大きいと感じています。幅広い業務に挑戦したい方や、意欲を持って仕事に取り組みたい方には、とてもやりがいのある職場だと思います。

Q5.キャリアについて

教育委員会学校指導課(3年)→政策経営部政策経営課(2年)→教育委員会生涯学習課(3年)→子ども家庭部児童青少年課(3年)→子ども家庭部子育て支援課(2年)→出向で現職
キャリアでは教育・子どもに関わるものが多いです。子ども家庭部での5年間のうち4年間は新規施設(矢川プラス・国立テラス)の開設準備担当として、多方面の部署・機関・事業者と調整や検討を行いました。

Q6.国立市の良いところ

国立市の魅力は、市民の方との距離が近く、顔が見える関係の中で仕事ができるところだと思います。人口規模が大きすぎないまちだからこそ、市民の声を身近に感じながら業務に取り組むことができます。まちの人とのつながりを実感できるところが国立市の良さだと感じています。

Q7.受験者へのアドバイス

職歴の有無にかかわらず受験できるのが、公務員の良いところだと思います。私のように大学卒業後にフラフラしていた期間がある方でもご縁があることもありますので、様々な方のご応募をお待ちしています。